

AOI通信

静岡音楽館俱楽部情報誌
JUNE 2013 No.70

夏号

インタビュー

フルート・アンサンブル ノズルズ

木ノ脇道元

メッセージ

山中千尋

アンサンブル=ウィーン・ベルリン
ハンスイェルク・シェレンベルガー

CONCERT REPORT

AOIゆかりのアーティスト
マリア暮林美歌里さん(オルガン)

静岡音楽館AOIの
市民会議委員ってどんな人?



Nozzles

interview Dogen KINOWAKI

8月17日(土)子どものためのコンサート
「ノズルズの不思議な世界と、
さまざまなフルートたち」公演にご出演する
フルート・アンサンブル ノズルズの主宰、
木ノ脇道元さんにお話を伺いました。

——フルート・アンサンブル ノズルズ結成の経緯についてお聞かせください。

2000年代初頭だったと思いますが、私が東京藝術大学の非常勤講師として行き始めた頃、今のノズルズのメンバー、多久潤一朗と古田士明歌が在学していて、2人とも新しい音楽、現代音楽に対する考え方、方向性が同じだったので意気投合し、この2人とのコラボレーションという形でフルート・アンサンブル ノズルズをスタートさせました。当初からいわゆるクラシックのレパートリーだけでなく、新しくクリエイティブな曲を取り入れてきました。その後、齋藤和志も加入し現在に至っています。活動は、都内での演奏会やフルート・フェスティバルが中心でしたが、2年前からは古田士がドイツ・フライブルクに拠点を移した関係で、活動を休止していました。ということで今回はフルート・アンサンブル ノズルズとして久々の演奏会となります。

——新しく、クリエイティブな音楽をレパートリーにされているということで、今回のプログラムの中にもスティーヴ・ライヒのような現代の先鋭的な作品が入っていますね。

みなさん、フルートという楽器については、似たようなイメージというのをお持ちだと思いますが、私たちはフルートの新しい可能性、聴いたことの無い姿をみなさんに見ていただきたいと常々考えています。今回のプログラムでは、最初と最後で17世紀の古い作品を取り上げ、中間部で現代の作曲作品を紹介することで、フルートの魅力を存分に知っていただけると思います。

——古い曲と新しい曲を一つのプログラムの中で紹介されるということに興味を引かれます。

新しい音楽を好む音楽家は、実はこのようなプログラムを作ることが多いように思います。17世紀の古い作品と20世紀以降の新しい作品、とりわけ馴染みの薄い音楽に敏感なのでしょうね。私の経験からいうと、子どもには先入観がないので、そういう知らない音楽に対しても演奏が良く内容が面白ければきちんと聴いてくれます。現代音楽が入っていても小難しくなく、おしゃべりは曲を聴いていただく助けになる程度におさえた、「音楽」を聴いていただくコンサートにしたいと思います。

——フルートの魅力ってどんなところですか。

フルートは木管楽器の仲間ですが、他の木管楽器とは発音方法が根本的に異なり、リードを使わない楽器です。そういう意味でフルートは異質な楽器と言えるかもしれません。構造は穴を押えるための機構がついているので複雑に見えますが、実はとてもシンプルです。ルネサンス、バロック時代から、基本的な構造は変化していません。

フルートは、直感的に音が出せます。わたしは声楽に似ていると思っています。工夫次第でフレキシブルに音色やニュアンスを作れるところが、フルートの魅力です。

——今回演奏いただく曲目についてお聞かせください。

プログラム始めのヘンリー・パーセルは、イギリス音楽の基礎を作った作曲家で、主にオペラを書いた人です。『亡き女王のための葬送行進曲』は、映画監督スタンリー・キューブリックの「時計じかけのオレンジ」で使われた作品で、映画ではウォルター・カルロスというアナログ・シンセサイザー奏者が人工的に編曲したものを使っています。続いてファン・ダイク(オランダ)、サラモーネ・ロッシ(イタリア)と、17世紀の古い作品を



木ノ脇道元



続けて演奏します。ここで、ルネサンス期からバロック期に変わることのイギリス、オランダ、イタリアの作品を聴いていただきます。パーセルは5人のアンサンブルで、ファン・ダイクはフルートのソロでいずれも短く聴きやすい作品、ロッシの曲は〈ザンパリーナ〉という作品で、ガイヤルドという15世紀にフランスで普及した舞曲です。

続いて「ミニマル」という現代の音楽形態を判りやすく紹介します。ライヒの《木片のための音楽》では、クラベスという木片の打楽器を使って、我々5人がリズムのパターンを少しずつ変えながら繰り返し叩くことで、独特の音楽を紡ぎ出しています。今回、子どものためのコンサートでミニマル・ミュージックを取り上げることは、私にとって一つの大きな挑戦もあります。続いて私の《渋谷の螺子》という作品と、もう1曲ミニマルの新作を取り上げます。《渋谷の螺子》というタイトルは、実はマンガからとっています。内容とはあまり関係ありませんが…。そして最後に、その昔ヒッチコック劇場というテレビ番組に使われていたシャルル・グノーの《マリオネットの葬送行進曲》というとても親しみやすい作品で締めくくります。

——全て5人で演奏されるのでしょうか。

曲によって編成は変わります。例えば、私の作品《渋谷の螺子》はピッコロ4人で演奏しますし、S.ライヒの《木片の音楽》は5人登場しますが、全員フルートではなくクラベスを使います。その他の曲には、通常のフルートやピッコロ以外に、アルト・フルートやバス・フルートを登場させる予定です。そこにチューバも加わって演奏しますので、是非実際見に来てその違いを見つけてください。

——フルートを演奏する上で、気を付けていること、また苦労されたことはありますか。

私は、「大胆に」、「繊細に」、「誠実に」、「無邪気に」演奏することを常々心掛けています。演奏が良く、内容が面白いコンサートをするためには、この4つのキーワードがとても重要です。これさえ気を付ていれば、質の高い演奏ができると信じています。

苦労したことですか。うーん…。これまでにフルートを演奏していく苦労だと感じたことはないですね。フルートは演奏人口が多いので、人と同じこと、ありきたりなことをやっていても駄目だとは思っています。ですので、新しいものを作るために常にアイデアを出していくようにしていますし、それを考えることをとても愉しんでいます。愉しく大胆に、演奏の精度は高く、内容が愉しく、そんな演奏会を作りたいです。

私は、子どもが様々なことを体験することはとても重要なことだと考えています。私の持てる全てを出して子どもたちに音楽の面白さを紹介していきます。皆さん、愉しみにしていてください。

——最後にメッセージをお願いいたします。

みなさん、フルートという楽器をご存知でしょうか。知っている人も知らない人もフルートという楽器の魅力を紹介しますので、是非ご来場ください。

——ありがとうございました。コンサートをとても愉しみにしています。

インタビュー：静岡音楽館AOI 学芸員 竹内啓



『ノズルズ』!!!

このアンサンブルの面白さは、「百聞は一聴にしかず」です。尊敬する木ノ脇さん、齋藤さんの超フルート！に加え、才能豊かな古田士さん、多久くんのスーパー技法。こんなフルートが揃って生まれる響きは、まさに聞いた事がない「サウンド』です。このアンサンブルの演奏会を通して、未知の世界を体験する事でしょう。そして、一種の麻薬のような響きに、虜になってしまふ事、間違いなしです。

高木綾子(フルート奏者)



©Yuji Hori

AOI・レジデンス・クワルテット with 高木綾子

11/9 18:00 開演(17:30 開場)

全指定 ¥3,500(静岡音楽館会員¥3,250、22歳以下¥1,000、親子券¥3,000)
静岡音楽館AOI・ホール [Pコード=186-640]

子どものためのコンサート ノズルズの不思議な世界と、さまざまなフルートたち

8/17 土 15:00 開演(14:30 開場)※16:30 終演予定

全指定 ¥2,500(静岡音楽館会員¥2,250、22歳以下¥1,000、親子券¥3,000)

静岡音楽館AOI・ホール [Pコード=186-640]

*このコンサートは未就学児でもご入場いただけます(チケットが必要です)。

出演／フルート・アンサンブル ノズルズ(木ノ脇道元、多久潤一朗、古田士明歌、齋藤和志)

橋本晋哉(チューバ)

曲目／H.パーセル：亡き女王のための葬送行進曲

ファン・ダイク：ファンタジー&エコー

S.ライヒ：木片の音楽

S.ロッシ：ザンパリーナ

木ノ脇道元：渋谷の螺子

C.グノー：マリオネットの葬送行進曲 ほか



Messages

山中千尋 (ピアノ)

Message from Chihiro Yamanaka

この度は静岡館AOIで演奏できることを大変光栄に、嬉しく思います。ジャズをコンサートホールで聞いて頂く機会はあまり多くないかもしれません。音響の素晴らしい会場で、フルコンサートグランドピアノから奏でられるジャズは、耳が馴染むほどに心地よく、広い空間に飛び出す音色が体全体を包む感覚がいつも忘れられません。ステージと客席が最上の音でしっかりとつながる楽しさは、小さなジャズクラブのような熱気と同じ、いえ、それ以上に極上の経験となるでしょう。

演奏者としては、入れ替えなく前半後半のプログラムで様々な楽曲を聴いていただけすることも、大変嬉しいことです。今回はクラシックのコンサートホールにふさわしいプログラムで皆様の親しみのあるものから知られざる名曲までのジャズ、クラシックの曲、そして私のオリジナル曲を演奏します。会場で皆様の笑顔とお目にかかるのをはげみに、ご家族で楽しんでいただける、そんなアットホームなコンサートにしたいと張り切っております。

秋のコンサートに出演される山中千尋さん、ハンスイエルク・シェレンベルガーさんからメッセージが届きました。



ハンスイエルク・シェレンベルガー (オーボエ)

Message from Hansjörg Schellenberger

私たちアンサンブル・ウィーン=ベルリンのメンバーは、今年迎える結成30周年に想いを巡らすたび、深い感慨と、そして、感謝の気持ちを強く感じております。1983年、カール・ライスター氏、ミラン・トゥルコヴィチ氏、ウォルフガング・シュルツ氏と私とでアンサンブル・ウィーン=ベルリン結成について話をしたことをつい昨日のように思い出します。今までにはなかったワイン・フィルそしてベルリン・フィルの主要メンバーによる私たちのアンサンブルは大成功を収めました。そして、日本の聴衆の皆様ともとても強い結びつきを感じてただけではなく、日本で演奏をするということはいつも喜びに満ちたものでした。

この30年という歴史の中で、メンバーの交代はありました、私たちのアンサンブルの中心的存在であったウォルフガング・シュルツが67歳という若さでこの世を去ったというとても悲しく残念な出来事に今私たちは直面をし、私たちメンバーは大きな喪失感を感じております。しかし、幸運なことに、シュルツの息子、マティアス・シュルツ氏が代わって日本ツアーに参加してくれることとなりました。マティアス・シュルツ氏もウイン国立歌劇場メンバーであり、また、室内楽で多くの経験を持っております。私たちはこの秋に行います日本ツアーを今は亡きウォルフガング・シュルツ氏に捧げたいと思っております。ウォルフガング・シュルツ氏もまた日本の聴衆の皆様を心より愛し、日本のツアーを心待ちにしておりました。私たちの友人ウォルフガング・シュルツ氏自身、そして、彼のフルートの音色はいつまでも、私たちの心の中にあります。



JAZZ LIVE
山中千尋
ニューヨーク・トリオ
9/21 木 18:00 開演(17:30 開場)
全指定 ¥4,500
(静岡音楽館俱楽部会員¥4,050、22歳以下¥1,000)
静岡音楽館AOI・ホール [Pコード=186-644]
※未就学児はご入場いただけません。
出演／山中千尋(ピアノ)、中村恭士(ベース)、ジョン・デイヴィス(ドラムス)

山中千尋さんの おすすめCD
SZIGETI J.S.BACH 6 SONATAS & PARTITAS FOR VIOLIN ALONE
シゲティ Josef Szigeti(ヴァイオリン)
発売元 : Vanguard Classics EAN : 0699675124625
なぜか時々、無性にバッハが聴きたくなります。それも無伴奏の単旋律楽器の奏でるバッハを。シゲティのシャコンヌの緊張感の高さに意識を集中すると、かえって心も身体も解き放たれるような癒しを感じます。いつも手もとにあるわたしの愛聴盤。

静岡室内楽フェスティバル 2013
アンサンブル・ウィーン=ベルリン
10/3 木 19:00 開演(18:30 開場)
全指定 ¥5,000(静岡音楽館俱楽部会員¥4,500、22歳以下¥1,000)
静岡音楽館AOI・ホール [Pコード=186-646]
※未就学児はご入場いただけません。

出演／マティアス・シュルツ(フルート)、ハンスイエルク・シェレンベルガー(オーボエ)、
シュテファン・ドール(ホルン)、リヒャルト・ガラー(ファゴット)、ノルベルト・トイブル(クラリネット)
曲目／W.A.モーツアルト：歌劇《コシ・ファン・トウッテ》K.588 より
P.タフネル：五重奏曲
W.A.モーツアルト：五重奏曲 ハ短調(K.388,406)(M.レヒトマン 編)
J.シュトラウスⅡ世：エジプト行進曲 op.335、観光列車 op.281、ビツィカート・ポルカ、
常勤曲 op.257
※当初、出演を予定していたウォルフガング・シュルツ氏(フルート)が、3月28日にお亡くなりになりました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

ジャズを聴くなら地下の暗いジャズ・クラブでバーボン・ソーダをゆっくり呑みながら煙草をくゆらせ……なんてイメージはいささかベタすぎるけれど、静岡音楽館AOIのような、静岡におけるクラシック音楽、室内楽の殿堂、といったらおおげさだが、シャンデリアがきらめきオルガンが据えられた、いかにもヨーロッパのクラシックのためのホールでジャズを聴くのはなんだかしっくりこないんだよなー、という声はたまに聞く。とかく、ここしばらくAOIの主催でジャズを聴く機会がなかったので、いつもジャズがあって「たまに」しか言われない、ということではないのだけれど。

そう、2013年2月、AOIのひさびさのジャズはギターのストーケロ・ローゼンバーグのアンサンブル。マヌーシュ・スティングという、ロマ(ジブシー)の音楽とスティング・ジャズが融合して室内楽的に洗練されたちょっとおしゃれな音楽は、けっこうAOIのホールに似合っていた、と思う。それ以前にAOIの主催でジャズを聴くことができたのはいつだっただろうか、と思い返してみたら、それは2004年にさかのぼり、AOI・レジデンス・クワルテットのヴァイオリン奏者、松原勝也のリサイタルで、ジャズ・ピアノの巨匠、山下洋輔が共演、AOIが山下洋輔に委嘱した《Chain' The Phase》を初演したときだった。この作品は東京や九州、また静岡市清水文化センターの閉館記念コンサートなどたびたび再演され、管弦楽版もつくられている。

山下洋輔のほか、AOIには佐藤允彦(ピアノ)、日野皓正(トランペット)、

大西順子(ピアノ)、渡辺香津美(ギター)、秋吉敏子(ピアノ)、ゲイリー・バートン(ヴィブラフォン)、小曾根真(ピアノ)などそうそうたるミュージシャンたちがこのステージで熱い演奏をほとばしらせてきた。AOIの主催で、静岡市民文化会館を会場に世界の巨匠ハービー・ハンコック(ピアノ)を招いたこともあった。たしかにジャズ・クラブで、息づかいまで聴こえそうなほど至近距離で演奏を堪能できるのは大きな魅力だ。AOIなどのコンサートホールでジャズを聴くのが「しっくりこない」のはそんな演奏との一体感に欠けるからかもしれない。でも、ミュージシャンが全霊を込めて演奏するその音楽を、1音も聞き逃すことなく、クラシックを聴くのと同じようにじっくり「鑑賞」できるのはコンサートホールでジャズを聴くメリットではないだろうか。だって、クラシックはもとよりジャズだってほんとうは「ながら」で聴けるものではないのだから。

今年の秋、AOIのステージに登場するのは日本が世界に誇るジャズ・ピアニスト、山中千尋。中村恭士(ベース)、ジョン・デイヴィス(ドラムス)を率いてのニューヨーク・トリオはどんなエキサイティングなライブを聴かせてくれるだろうか。彼女はたぶんコンサートの直前までプログラムを決めない。その瞬間瞬間にたいせつにするアーティストである。その瞬間まで、なにが現れるのか判らない。よりいっそ期待は昂まる。一ああ、でもやっぱり聴きながら呑みたいかもしれない。バーボン・ソーダ……(濃いコーヒーでもいいけれど)。



AOIでジャズを聴く



JAZZ LIVE ストーケロ・ローゼンバーグ・トリオ & ティム・クリップハウゼン(2013.2.24)

撮影:日置真光

第18回「静岡の名手たち」オーディション合格者決定!

第18回「静岡の名手たち」 オーディション合格者によるコンサート

9/14 木 18:00 開演 全自由 ¥1,800(静岡音楽館俱楽部会員¥1,620、22歳以下¥1,000)
静岡音楽館AOI・ホール [Pコード=186-641]

- ・斎藤樹里(ハープ)【ロダン賞受賞】
M.トゥルニエ：ソナチヌ ホ長調 op.30
- ・加藤早紀(ソプラノ)【コンセルト賞受賞】
W.A.モーツアルト：歌劇《後宮からの誘拐》k.384 より(ああ、私は愛していました)
G.マイヤベア：歌劇《ディーラー》より(影の歌)
- ・望月愛見、渡邊浩代(ホルン、ピアノ)
G.ロッシーニ：狩のランデバー
F.シュトラウス：シューベルトの「あこがれのワルツ」による幻想曲 変ロ長調 op.2
- ・竹内利樹(バリトン)【コンセルト賞受賞】
高田三郎：くちなみ
G.ヴェルディ：歌劇《トスカ・カルロ》より(私ですカルロ様) (最期の時が来た)
(カルロ様お聞きください)(私は死にます)
- ・守谷由香(ソプラノ)【ロダン賞受賞】
F.ブランク：歌劇《ティレジアスの乳房》より(あなた、もうイヤよ!)
L.バーンスタイン：歌劇《キャントディード》より(着飾つて、きらびやかに)
- ・サクソフォン・アンサンブル虹(サクソフォン六重奏)
松岡大祐:《トゥリアエズ》

「静岡の名手たち」オーディション、ついに今年第18回を迎え、今年5月に選出した6組の将来有望な音楽家たちをここに聴いていただこうこととなりました。ホルンとピアノ、ハープ、サックス六重奏、それに歌手3人です。いずれもすぐれた感性、音楽性と高い技術を持って、十全に自分の音楽を表出できる人たちで、本当にこれからが楽しみです。とても華やかで一瞬のうちに人の心をつかんでしまう人もいるでしょう。また最初はそんなに目立たないけれど、聴いているととても感性の鋭いところがだんだん聴こえてくる人たちもいます。とにかく、同時代の音楽家を応援するのは、本当に楽しいものです。みなさんもぜひコンサートにいらして、彼らのファンになってみてはいかが!!!

野平一郎

第18回「静岡の名手たち」オーディション審査員長
作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督

CONCERT REPORT

コンサートレポート

野平一郎:《進化論》×モーツアルト:《レクイエム》演奏会レビュー

2013年3月24日(日)

藤原一弘(音楽学)



長年にわたり合唱を通じて子どもたちに音楽を伝え続けてきた音楽青葉会・静岡児童合唱団の創立70周年を記念する演奏会を聴いた。

野平による児童合唱とピアノのための《進化論》(2010)は、第1章「はじまり～進化論への道のり」、第2章「ダーウィン～進化論の完成」、第3章「これから～新たな進化論」の三部からなる演奏時間30分におよぶ大作である。無調で書かれたこの作品は増・減音程や半音階に溢れ、リズムも複雑で拍子も常に変化するため歌う困難さも並大抵ではない。この難曲を子どもたちと青葉会スペリオルの女

性たちは暗譜で歌い、囁き、語り、叫んだ。題材である進化論を語る以上は避けて通れない学術的な用語も何の不自然さもなく明瞭に歌われたため、歌詞の内容をはっきりと聞き取って把握することができた。

ピアノの長尾洋史は、声楽パートよりも複雑なリズムと変拍子に満ちたピアノ・パートを柔軟かつ生き生きとしかも美しい音色で演奏することによって、子どもたちがごく自然に音楽の流れに乗って歌えるよう理想的な形で伴奏を奏で、現代曲の解釈に非凡な能力を示していた。作曲者であり指揮をした野平にとっても、演奏困難なこの曲がこれ程の技術的な完成度を持って、しかも演奏する子どもたちによって心からの歓びを持って演奏されようとは想像をはるかに超える出来事だったのでないだろうか。

今から220年ほど前に書かれたモーツアルトの《レクイエム》(1791)は、作曲者の死によって未完に終わった作品である。未完にもかかわらず全曲を通して演奏され得るのは、モーツアルトの弟子ジュスマイヤーによる補筆のお陰である。この曲の演奏には青葉会男声合唱団と東京藝術大チェンバーオーケストラ、イギリスから招かれたテノール、バスのソリスト2名が加わった。野平の指揮は一貫してロマンティックな解釈で、キリエやオザンナのように速い楽章での悠々としたテンポにそれが顕著に表れていた。

しかし今回の演奏で際立っていたのは、なんと言っても静岡児童合唱団の演奏レベルの高さだろう。音程の正確さや音価の短い音符を速く的確に歌う技術力の高さと安定感は、確かにこの合唱団の持つ能力の

高さを物語っている。しかしだ単に「上手い」という言葉で片付けてしまうわけにはいかない、この団体の持つ別の優れた面がこの日の演奏からはあふれ出していた。それは演奏する歓び、歌うことの楽しさがほとばしり出していたということだ。楽譜を正しく歌うことは比較的容易に指導することが可能かもしれない。だが心からの喜びをもって演奏することは、「喜んで歌いなさい」と言ったところで伝えられるものではない。それは日頃の練習での地道で真摯な指導者の音楽と接する態度からのみ、子どもたちの心の中に種をまき芽生えさせることのできる性格のものだろう。見せかけではない真の音楽の歓びとは、教える者も心の底からわき上がる音楽の歓びを胸に指導しない限りは決して伝えられず、また「指導」という上から下へという人間関係ではなく、大人と子供という差を超えて楽しくも厳しく共に音楽をするという姿勢が終始一貫していない限りは、子供の心の中に自然な形で芽生えないものだからだ。

おそらく我々大人は子供の秘めている力を甘く見すぎなのだろう。子どもたちを正しいやり方で鍛えさえすれば彼らの持つ潜在的な力を引き出せるということを実は心から信じられないでいるのだ。だからこそ、220年の隔たりを持った2つの作品から澄んだ音楽の歓びが子どもたちを通じて輝き出たことに驚きと感動を憶えたのだ。正しい指導のノウハウと子供たちに音楽の素晴らしさを伝えるために生涯をかける覚悟と責任感を持った指導者に導かれるという、この子どもたちのような幸運は我が国において極めてまれな例外的とも言える程に大きな幸運なのである。



撮影:日置真光

AOIゆかりのアーティスト

静岡音楽館AOIでは毎年、特別支援学級・学校の児童生徒のみなさんを対象に、ホールの見学会を行っています。そこで素敵なお披露目を聴かせてくださるのがマリア暮林美歌里さん。8月31日にはオルガンの名曲を交ぜたオルガン・コンサートにご出演いただきます。

いつ頃からパイプオルガンに興味を持たれたのですか?
また演奏家になろうと思われたきっかけや、その後のエピソードなどをお話しいただけますでしょうか。

わたしはカトリックの音楽一家に生まれ、母がパイプオルガンを大学で勉強し、父も私が小学生の時に、週末、東京で教会音楽を勉強していたので、自宅に練習用のオルガンがありました。10歳の時に、脚がペダルにつくようになりましたが、とても楽しく、ピアノよりも自分に合っていると思い、勉強したいと思いました。両親に相談したところ、当時はまだパイプオルガンは日本ではマイナーだった為、勉強するなら本場に行つたほうが、たくさんのいい音楽に触れ合えるし、専門の先生が沢山いらっしゃるからと、小学校5年生の時に将来留学することを決めました。

留学先は、高校1年生の夏、父が書店で本を見ていた際、たまたま肘がひつかって落ちたのが海外留学の本で、その時ちょうど開いたページが、その後通う事になる学校の案内だったのです。そこには15歳から入学可能とあったので、すぐに手続きをしたりと色々な話が進み、3月にはウィーンにおりました(笑)。

それはすごいですね。留学先はどんな街でしたか? また思い出などをお伺いいたします。

当時、どの劇場でも学生券があったり立ち見ができるので、音楽を学ぶ学生にとって、素晴らしい音楽が安価で楽しめるというのは大変魅力的でした。

また、「12使徒の地下」という意のケラー(地下酒場)で飲むシュブリッツァー(炭酸水を入れた、ワインでできているカクテル)や、黒スグリと赤スグリのワインは絶品でした。なぜか誰と行っても絶対に道に迷い、一度では行き着けないのが不思議なお店で、観劇・鑑賞の後、「12使徒の誰かの悪戯だ」とよく言なながら、友人達と議論したりしたことはいい思い出です。

最後にみなさまへメッセージをお願いいたします。

8月のコンサートは聴きやすい曲を中心に、静岡音楽館AOIのパイプオルガンに合う曲でまとめさせて頂きました。健常者だけではなく、お身体に不自由がある方々にもご来場頂き、一人でも多くの方に音楽の楽しさを知って感じて頂けたら嬉しい思います。

ありがとうございました。コンサートを楽しみにしています。

オルガン¥500コンサート
マリア暮林美歌里

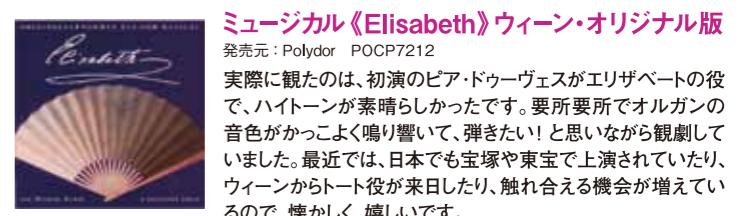
8/31(土) 15:00 開演(14:30開場)*16:00 終演予定

全自由 ¥500(静岡音楽館俱楽部会員割引はありません。)

*このコンサートは休憩がありません。

曲目 / J.S.バッハ : ツッカータビーフガニ短調 BWV565
L.ルフェビュール=ヴェリー : アンダンテ へ長調
V.ジーホフスキ : 32の前奏曲より 第1番、第3番
J.ボネ : 演奏会用変奏曲 op.1 ほか

マリア暮林美歌里さんの おすすめCD



ミュージカル『Elisabeth』 ウィーン・オリジナル版

発売元: Polydor POCP7212

実際に観たのは、初演のピア・ドゥーヴェスがエリザベートの役で、ハイトーンが素晴らしいかったです。要所要所でオルガンの音色がかっこよく鳴り響いて、弾きたい! と思いながら観劇していました。最近では、日本でも宝塚や東宝で上演されており、ウィーンからトート役が来日したり、触れ合える機会が増えてるので、懐かしく、嬉しいです。

静岡音楽館AOIの市民会議委員ってどんな人?⑥

AOIがコンサートを制作する際には芸術監督・企画会議委員の意見の他に、音楽にゆかりのある方や公募により選ばれた委員で構成された市民会議の意見も反映しています。聴衆に近い視点から意見をいただくことによってより良いコンサート作りに努めています。このコーナーではそんな市民会議委員を紹介していきます。



初鹿野剛
バリトン歌手、
第1回「静岡の名手たち」合格者

母 が音楽が好きで、幼少時から音楽教室に通って以来、エレクトーンやトロンボーンや合唱等、ずっと音楽をすることが好きで育ちました。高校進学で清水南高校芸術科を志望しましたが、どう受験しようかある人に相談したら、電話にもかかわらず「君は声がいいから声楽にしなさい」と言われて声楽の道に進みました(笑)。

静岡音楽館AOIの、第1回「静岡の名手たち」にチャレンジしたのは大学4年生のとき。コンサートではフーゴー・ヴォルフの歌曲を歌いましたが、ずっとドイツ歌曲を大切にレパートリーとしてきました。言葉の世界を音楽として、ピアニストとのアンサンブルでいかに表現してゆくか、その奥深い醍醐味に惹かれています。ドイツ・カーラスルーエに留学して「ドイツ語をどう歌うのか」をみっちり学べたことが、いま自分が歌曲を歌う糧になっています。今夏以降はワーグナープロジェクト名古屋《パルジファル》、藤沢市民オペラ・モーツアルト《フィガロの結婚》に出演するなど、オペラ、オラトリオの活動が多く、歌曲を歌う機会を得るのはなかなか難しいですが、それでもありがたいことに年に1回はピアノの朴令鈴さんによる歌曲のシリーズに参加させてもらっています。

「静岡の名手たち」もそうですが、AOIのコンセプトのひとつに若い音楽家に対する支援があって、それは自分にとってとても励みになりました。2011年から常葉学園短期大学(今年4月から常葉大学短期大学部)で教えていますが、学生たちには「耳を鍛える」ということをいつも言っています。AOIがあることで、静岡にいながらにしてほんとうにいい音楽が聴ける。クラシック音楽は堅苦しく形式的なものではないし、聴くだけで楽しい、もっと親しめるものだろうと思います。市民会議委員として、AOIが眼に触れる機会を増やしていければと思います。(談)

Ticket de Smile 加盟店のご紹介



Ticket de Smile加盟店は静岡街中に57店舗!ぜひご利用ください。

※チケット記載の日付(期間)に限り、1回ご利用いただけます。
※チケットを提示されたご本人さまのみ有効です(店舗によって異なる場合があります)。

親子4代のファンがいるオリジナルミートソースと、ラーメンが同時に食べられるお店です。

■多楽・キャット&ボア

TEL.054-255-5624
静岡市葵区紺屋町7-13(B1)
営業時間／10:30～21:30

【おすすめ】
新発売! 塩ラーメン 850円

コロッケ1ヶまたは、
餃子2ヶサービス

※チケットに記載の日付(期間)から
1週間まで1回限り有効



「あくまで酒が主役」
静岡の地酒と肴のお店です。

■駿河呑喰処 のっち

TEL.054-253-5556

静岡市葵区七間町8-25

PISAビルⅡ 4F

営業時間／17:00～26:00

月曜日定休

【おすすめ】

・本日の鮓刺 ・珍味三点盛
・地酒各種

コース料理10%off(要予約)



出 演 者 決 定 !

静岡室内楽フェスティバル2013 第3回 アマチュア・アンサンブルの日♪

10/6(日)12:00 開演(11:30 開場) ※18:30 終演予定

入場無料 ※このコンサートは未就学児でもご入場いただけます。

今 年で3回目を迎えるアマチュア・アンサンブルの日♪。今回も多くの方々にご応募をいただきました。4/29の締切後、抽選を行い、出演する24組が決まりました! 熱演をどうぞお聴きください。バラエティにあふれた楽しいコンサートになることでしょう。お楽しみに!

● 第1部 アンサンブルのバラエティ

12:00 開演(11:30 開場)

■amici(ピアノ4手、打楽器)

G.ガーシュウィン：アイ・ガット・リズム(松下美千代 編)

イギリス民謡(アメイジング・グレイス)(久木山直 編)

A.ピアソラ：リベルタンゴ(石川芳 編)

葉加瀬太郎：情熱大陸(金益研二 編)

■サクソフォン・アンサンブルPICO

A.ピアソラ：カフェ1930

C.コリア：スペイン

■MYROS(リコーダー・オーケストラ)

A.チャリンジャー：3つのダンス

■静岡ギター・アンサンブル

ドイツ民謡(ミュンヘン・ボルカ)

〈故郷を離るる歌〉(新堀寛己 編)

■ギター・アンサンブル サウンド・オブ・ドリーム

G.M.ロドリゲス：ラ・クンバリータ(平倉信行 編)

久石譲：サマー(久保田尚男 編)

A.D.ドワーリザーク：スラヴ舞曲第10番 op.72-2(久保田尚男 編)

■フレンズ(マンドリン・ギター・アンサンブル)

M.ハジダキス：日曜日はダメよ

日本民謡(お江戸日本橋)(山口吉雄 編)

見岳章：川の流れのように

J.B.コック：序曲《魅惑島》op.62

● 第2部 輝け! ブラス!

13:45 開演(予定)

■トロンボーン・アンサンブル「とろ」

(トロンボーン四重奏)

G.ティボール：序奏・主題と8つの変奏 op.13a

H.マンシーニ：子象の行進

■トロンボーン・アンサンブル・セルジア

(トロンボーン四重奏)

J.アグレル：ゴスペル・タイム

■静岡県トロンボーン協会(トロンボーン八重奏)

G.ヴェルディ：『レクイエム』より(リベラ・メ)

R.ヴァーグナー：歌劇『ローエンリング』より

〈エルザの大聖堂への行進〉

■はんなりブラス(金管八重奏)

高橋宏樹：金管八重奏のための『文明開化の鐘』

福島弘和：ていーち ていーる(沖縄民謡による)

■吹奏楽団 ダイアンサス

福田洋介：吹奏楽のための『風の舞』

B.アップルモント：アイヴァンホー

■Ritmo bebe(吹奏楽)

J.シュトラウスI世：ラデツキー行進曲 op.228(伊藤直樹 編)

L.v.ベートーヴェン：よろこびの歌

（交響曲第9番 op.125 第4楽章）

（山下国俊 編）

*時間は目安のため、多少前後することがあります。 *都合により内容を変更する場合があります。

*場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。 *携帯電話、アラーム付時計等の使用はお控えください。

*演奏中のご観覧はお控えください。 *他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。 *託児サービスはございません。

静岡音楽館俱楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、平成25年度をもって退会をご希望のかたは、平成26年2月末までに、静岡音楽館俱楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので、ご了承ください。

静岡音楽館俱楽部 法人会員(2013年5月末現在)50音順

●(株)アイテレティック ●(株)静岡博報堂

●(株)SBSプロモーション ●(株)タミヤ

●かわした歯科クリニック

●コカ・コーラ セントラルジャパン(株)

●(株)サンタモニコボレーリョ

●静岡タミナルホル(株)

コンサートシリーズ2013-14

主催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財團

特別協賛 静清信用金庫

協賛 アイワ不動産

HARVEST HOMES

コカ・コーラ セントラルジャパン株式会社

ホテルセンチュリー静岡

次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

*価格は税込です。

*都合により内容を変更する場合があります。

*お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。

*場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。

*携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。

*他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。

*静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階建てになってしまいます。開場時間になりますと1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。

*静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児は入場いただけません。

「あくまで酒が主役」
静岡の地酒と肴のお店です。

■駿河呑喰処 のっち

TEL.054-253-5556

静岡市葵区七間町8-25

PISAビルⅡ 4F

営業時間／17:00～26:00

月曜日定休

【おすすめ】

・本日の鮓刺 ・珍味三点盛
・地酒各種

コース料理10%off(要予約)

第3部 邦楽のひととき

15:15 開演(予定)

■岡部しの笛の会

日本のうた 小品集

■ころりん(箏アンサンブル)

橋本祥路：つるのおん返し(鈴木美津子 編)

■グループ糸遊 あかほり社中 らんぱ会(邦楽)

池上眞吾：迦樓羅

第4部 クラシックの秘曲集

16:20 開演(予定)

■チーム「EK」(クラリネット二重奏)

B.クルーセル：クラリネット二重奏曲第1番 へ長調 op.6

■クラング・ツァウバー(ファゴット、ピアノ)

G.ビエルネ：演奏会用独奏曲 二短調 op.35

C.サン=サンス：ファゴット・ソナタ長調 op.168 第1楽章

■スプリング・Birds(オーボエ、ピアノ)

G.ドニゼッティ：オーボエ・ソナタ へ長調

C.サン=サンス：オーボエ・ソナタ 二長調 op.166

■AAMトリオ(クラリネット、ファゴット、ピアノ)

L.v.ベートーヴェン：三重奏曲 変ホ長調 op.38 第1楽章

■松本戸塚バンド(パロック・ヴァイオリン、10弦ギター)

F.ソル：月光 op.35-22

■アンサンブル静岡(フルート、ヴィオラ、チェロ、ギター)

F.シューベルト：四重奏曲(ソルトウルノ)長調 D.96 より

第2.4.5楽章

■ふもとの風五重奏団(木管五重奏)

A.ライヒャ：木管五重奏曲 変ホ長調 op.88-2

■ルナ・ハープ アンサンブルクラブ

J.ダウランド：まことの愛が呼んでいる(眠れ 定まらぬ思いよ)

〈泉よ そう湧き急ぐな〉

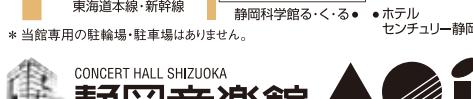
〈思いとげられぬしたら どうしよう〉(流れよ 我が涙)

■オーケストラ・スプラウト(リコーダー・オーケストラ)

G.B.サンマルティーニ：シンフォニア JC39(向江昭雅 編)

JR静岡駅北口を出てすぐ左

静岡中央郵便局 合同建物内



月曜日休館(ただし祝日開館、翌日休館) 9:00～21:30開館
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

お問合せ

054-251-2200

AOI

検索